

令和3年6月 香美町教育委員会（定例会）会議録

【開会・閉会の年月日】

令和3年6月25日（金）午後1時30分～午後2時50分

【場所】

香美町村岡地域局3階 301会議室（香美町村岡区村岡390番地の1）

【会議に出席した者の職・氏名】

教育長	前田 毅
教育委員	吉田 加代子
	安田 優二
	多田 好江
	田路 一成
事務局	
教育総務課長	清水 幸信
こども教育課長	丹後谷 智
生涯学習課長	裏戸 正範
教育総務課副課長	山田 貴広
こども教育課副課長	井上 修三
生涯学習課副課長	田中 利彦
教育総務課主幹	宮脇 秋子

【会議に欠席した委員の職・氏名】

なし

【議事日程】

会議に付した事件も、同じく別紙議事日程のとおりである。

1 開会

（教育長）開会宣言

2 会議録署名委員の決定

（教育長）会議録署名委員に多田委員を諮り、全員承認

3 会期の決定

（教育長）会期は本日1日限り

4 会議録の承認

前回会議録を会議に諮り、全員承認

5 教育長報告

5月25日から6月24日までの期間（前回の教育委員会～昨日）に開催、出席した会議・行事などについて資料により報告

6 協議事項

(1) 令和3年度香美町教育委員会の点検・評価について

（教育総務課副課長）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会が行う事務事業について、毎年、点検・評価を行い、報告書としてまとめて議会に提出するとともに、公表しなければならないという規定に基づいて行うもの。7月21日の外部評価委員会を経て、再度8月の教育委員会で報告させていただいたのち、議会へ提出し、町ホームページで公表する。

→点検・評価の概要について説明

【質疑内容】

（安田委員）

事前にそれぞれの担当の方がこの調書を書かれているということですが、新型コロナの感染症のためとか、コロナ禍とか、感染拡大のためとか、緊急事態宣言のためとか、表現が統一できていないので、何か統一したものの方が良いかなと気付きました。もう1点、病児保育事業のところで、「までの子ども」という表現と「児童が」という表現になっていますが、「子ども」なら「子ども」にした方がいかなと気付きました。

（教育総務課副課長）

病児保育事業は、「子ども」で統一をさせていただきます。コロナ禍につきましては、読み直して、統一した表現にさせていただきたいと思います。

（吉田委員）

図書事業のところですが、実施状況の4番目、「乳幼児健診の待ち時間を利用した・・・」という項目ですが、昨年、村岡区・小代区の乳幼児健診会場では、読み聞かせやブックリストの配布は中止しました。香住区では実施されたかどうか分かりませんが、実施できたのかできていないのかによって表現方法が変わってくると思います。

（教育総務課副課長）

確認させていただきます。

（吉田委員）

ふるさと食材の調理実習では、例年であれば10校園所が調理実習をされていますが、去年は2校、小代中の魚の捌き方の実習も入れたら実施校は3校ですが、それでも判定は「できている」になるのでしょうか。実施校数が極端に減っているのもう一度検討していただけたらと思います。

（教育長）

ありがとうございます。

（多田委員）

どの事業もコロナの中で大変だったと思います。文化ホール事業が実施できなかったということもよくわかりますし、第2期教育振興基本計画に関する意向調査の中で、芸術文化に触れる機

会があまりないという住民の意見がとて多かつたということがでていて、いろいろ計画されていた事業ができなかつたのだらうと思いますが、そういった状況で「よくできている」という判定をされているのは違和感がありました。

(生涯学習課長)

総合評価の記載の部分と判定とにズレがありますので、「できている」に修正をさせていただきます。

(田路委員)

人権教育推進事業の判定は、「できている」けど「内容改善」とされていますが、課題の「人権問題が時代の流れとともに多様化し、子どもたちが様々な問題に直面している」というところについては、多様化でどのような問題に直面しているか、分かるようにおっしゃっていただければと思いますことと、「今日的課題となっている多種多様な人権問題について学べるように」ということですが、もう少しイメージできるような言い方にならないのでしょうか。

地域の人たちが感じている人権の問題と、学校や教育委員会側からの人権の学習と、これが上手に交差されている場面が本当はないといえますか、みんなそれぞれ家庭や地域で人権についての課題というものを感じているものがあると思いますが、もう少しこのところの交差や交流ができるようなものになればいいのにと感じるが多かつたのでお尋ねしました。

(生涯学習課長)

令和2年度をもって、杉の子学級、あすなる学級、竹の子学級は廃止、閉校しました。令和3年度からは新たな取組として、同和学習に特化するのではなく、人権問題全体を捉えるようなかたちの、全町を対象とした活動に取り組むということで計画をしています。このところにより「内容改善」としていますが、判定理由、課題の部分の表現を精査した方がいいと思いますので、委員のご意見を頂戴しながら考えたいと思います。

(安田委員)

一貫化教育のところにある「小・中学校がお互いに目指すべき子ども像」とは、具体的にこういうものだよというものがあれば教えていただきたいと思います。

(教育長)

中学校区に集まって協議をし、例えば、町民運動である「あいさつ」をする、時間を守るというような、中学校区によって若干異なるかもしれませんが、具体的にいうと、町民運動を中心としたことが目指す方向として共有しています。

(田路委員)

不登校の未然防止と支援の充実という項目ですが、令和2年度の子どもたちの状況を教えてください。

(こども教育課長)

4月、5月は臨時休業だったこともあり1学期は少なかつたですが、1学期終えて徐々に出てきました。小中学校で不登校は13名です。保護者とスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育相談センターと常時連携しながら取り組んでいきたいと思っています。

(教育長)

令和2年度の30日以上長期欠席は19名で、そのうち不登校が13名、病気の子が6名です。本年度は、もうすでに30日を超えて欠席している子が中学校で2名出てきています。最近変わったのは、学期ごとに10日、1学期で10日を超えたら、2学期だと20日を超えたら不登校のカウントをするというように、不登校傾向にあるなら早く対応しなさいということで、学

期ごとに対応するのは早くなっています。ただ、社会現象の一つだとは思いますが、要因が非常に複雑になってきており、難しいと思う部分は多々あります。本年度の適応教室は、香住一中の子たちが何名か利用していますが、村岡区・小代区にも不登校傾向の子が出てきていて、実際に不登校の子もいますので、毎週水曜日の午前中、村岡区中央公民館でも開設するよう今月から動いています。

(多田委員)

放課後プラン事業の目的の中には「学習」もありますが、実際には、放課後に集まった子どもたちに学習を支援するということはあまりないのでしょうか。

(生涯学習課長)

ここでの「学習」は、指導するというより、宿題をそこでする時にサポートするというようなことです。教える目的で学習することではないというものでございます。

7 事務局報告

(1) 教育総務課・・・報告者：教育総務課長

○6月議会報告について

- ・保育事業関係の条例の一部改正2件、質疑なしで可決
- ・一般会計補正予算、可決

(学校給食地場産物使用促進事業補助金、スクール・サポート・スタッフ配置事業、オリンピック・パラリンピックムーブメント展開事業)

・一般質問の概要

「コロナが落ち着くまでの間、給食費の無償化を」(東垣典雄議員)

→給食費は保護者が負担していることにより、子どもの食事に関心を持ってもらうことで食育推進につながると考えているので、コロナ対策としての無償化は考えていない。

「新しい教育長の教育方針、子どもたちの将来像についてどう考えるか」(見塚修議員、藤井昌彦議員)

→知・徳・体の調和がとれ、自らの夢や希望の実現に努力し、多様な共生、思いやりや寛容な心を持ち、失敗を恐れず困難に立ち向かえる子どもを育成することが重要だと考えている。

「修学旅行の費用、入学時の準備品にかかる費用、給食費といったものを公費負担または無償化ができないか」(南垣誠議員)

→児童生徒個人の所有物であったり、教育の結果として、その利益が児童生徒に還元されるものは私費負担とするという基本的な考え方により、公費で負担するようなことは考えていない。

「小代区には幼稚園がないが、小学校に入る前に幼稚園が必要ではないか」(南垣誠議員)

→小代認定こども園の5歳児クラスでは、幼稚園と同様、小学校につなげる教育を行っているので、小代区に新たに幼稚園を設置する必要はない。

「幼稚園児の預かり保育及び学童保育の利用者負担の軽減」(南垣誠議員)

→所得により利用料が高い方であっても、月16日以上利用すれば実質無料になる。

利用者の8割が無料で利用しているので、利用者負担が大きいとは考えていない。

「コロナ対策としての学校のトイレの清掃」(小谷康仁議員)

→コロナ対策として教職員の業務をサポートするため、スクールサポートスタッフを配置している。また、消毒等のために国からも補助金が出て、今年は予算もあるが、引き続きこれらの予算確保に努力していくことが課題である。

「デジタル教科書の全学校、全学年の導入について」(徳田喜代子議員)

→2024年度に小学校の教科書が改訂されるのに合わせてどうするかということを検証するために、今年の段階では実証事業として入れている。試行段階ですのでそこまでのことは考えていない。

「学校統廃合について」(岸本正人議員)

→基本的には現在の小規模校の取組を継続していくが、統合希望の高い地域については詳しい検証を行い、教育振興基本計画においてその方向性を定めていきたい。

「保育園に入園できなかったという話を保護者から聞いた」(岸本正人議員)

→年度当初は入所先を調整することもあり、待機児童は発生していないが、年度の途中で入りたいといったような場合に、面積要件や保育士の人数の関係といったことでどうしても受け入れができない状況があり、お断りしているケースはあるが、できるだけ希望に応えられるように努力していきたい。

(2) こども教育課

特になし

(3) 生涯学習課・・・報告者：生涯学習課長

○第24回村岡ダブルフルウルトラランニングの開催について

- ・9月26日開催
- ・コロナ対策により45kmコースの1コースのみ
- ・7月1日から募集開始し、参加者は約2千人を見込んでいる。

○第28回みかた残酷マラソン全国大会の開催について

- ・10月31日開催
- ・昨年度、中止決定前に応募があった約1,920人に、7月1日からのおよそ1千名の追加募集を加え、3千人規模の大会を目指す。
- ・例年通り全長24kmコースのみ

【質疑内容】

(安田委員)

12歳以上の子どもたちもワクチン接種券が発行されますが、保護者の立場からすると、ワクチンを接種するのかもしれないのか、安全性を考えると、その判断がとても悩むところです。文部科学省や教育委員会から何か発信されるようなことはありませんか。

(教育総務課長)

文部科学省としては、学校での集団接種は推奨しないとされ、香美町としても、学校での集団接種はしない方向です。保護者の方が、町の集団接種の方に申し込んでいただくが、病院や診療所での個別接種に連れて行っていただくかということになります。

(教育長)

保護者が付き添ってということを考えてくださいということですので、接種するのかもしれないのかも含めて、親の判断というような捉え方をしています。保健所や関係機関に相談を掛けられるのが一番だと思います。

(教育総務課長)

町でしたら、健康課のワクチン接種の部署になります。

(多田委員)

要望になりますが、町が考える適正な学級規模を、教育振興基本計画の中に入れていただきたいと思います。

(教育総務課長)

文部科学省が手引きを出しており、小規模校の時はこうしなさいというようなことも言っていますが、標準は1学年2クラス以上です。文部科学省が標準とその手引きの中で言っているのは、香美町内では香住小学校だけしか当てはまる学校はなく、他は全部小規模ということになります。

(多田委員)

現実とはもちろんそぐわないところがあると思いますが、一番基の適正な学級規模の考え方が必要ではないかと感じています。

8 その他

○第2期香美町教育振興基本計画について

(教育総務課長)

第2期香美町教育振興基本計画に関する意向調査結果報告書の冊子を配付。

基本計画策定作業は、夏休みに第1回の策定委員会を開く方向で準備を進めている。

○7月の定例会について

日時：7月26日(月) 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

○8月の定例会について

日時：8月25日(水) 午後1時30分～

会場：香美町村岡地域局3階 301会議室

9 閉会

香美町教育委員会会議規則第27条の規定によりここに署名する。

令和3年6月25日

教育長

前田 毅

香美町教育委員会

署名委員

多田 好江

会議録作成者：教育総務課 主幹 宮脇 秋子